

平成26年度第1回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

- 1 開催日時  
平成26年7月8日（火） 11:00～12:15
- 2 開催場所  
鹿児島市役所東別館9階特別中会議室
- 3 出席者  
(1) 委員10人  
(2) 事務局7人（総務部長、情報システム課長、広報課2人、情報システム課4人）
- 4 会次第  
(1) 第三次鹿児島市地域情報化計画の進捗状況について  
(2) その他
- 5 議事の概要

発 言 者	議 事 内 容
事務局	事務局から資料の説明
委員長  委員  事務局  委員  事務局 委員 事務局  委員  委員 委員 事務局  委員	質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務局の説明では、進捗は、良好とのことであるが「◎」後の実績の評価も大事である。それでは、委員の皆様から意見をいただきたい。</li> <li>● ホームページのリニューアルは、良いことである。アクセス件数の24～28年度いずれも目標値が300万件とあるが、数値の根拠は？また、リニューアルで閲覧しやすくなるのなら目標値を見直して、上げるべきではないか。</li> <li>● アクセス件数の300万件は、市ホームページのトップページへのアクセス件数であり、第五次鹿児島市総合計画の目標値として定めたものである。リニューアル後の目標値の見直しについては、今後検討していきたい。</li> <li>● Web会議システムの導入・外国人観光客の受入体制の整備(wifi設置)は、いずれも導入台数が目標値となっているが、利用状況を把握し、それを目標値とすべきではないか。</li> <li>● 関係課と協議していきたい。</li> <li>● 外国人がwifiを利用する際のアクセス方法は、どうなっているのか。</li> <li>● wifiのアクセス方法については、英語等の観光ホームページに繋がるような仕組みを検討中である。</li> <li>● 達成済「◎」となっている事業は、終わりということではない。目標値の見直しや活用状況の把握をお願いしたい。</li> <li>● 数値目標をしっかりと定めてほしい。</li> <li>● 公共施設への公衆無線lanスポット設置の検討の内容を教えてください。</li> <li>● 昨年6月に示された国のガイドライン等を参考に、庁内関係課で構成されるワーキンググループを開催し、公共施設を7つのカテゴリーに分け、その必要性や期待される効果、運営方法などについて検討を行ったところである。</li> <li>● 民間に比べると鹿児島市のwifi設置の対応状況は、遅いと感じている。「ソーホーかごしま」、「ソフトプラザかごしま」といった情報関連企業等が集まる場所もまだ整備されていない状況である。公衆無線lanの設置については、検討だけで達成済みとすることなく、設置台数の目標値をあげ整備を進めていくべきではないか。</li> </ul>

委員長	● 公衆無線 lan スポット設置の検討結果をふまえての今回の観光施設等への wifi 設置になると思うが、費用面は、どのようになるのだろうか。
事務局	● wifi 設置については、市で独自導入する方法、民間業者を活用する方法があるが、今回は民間業者を活用することで、導入費用を抑えることができる見込みである。
委員	● 必要とされている公衆無線 lan スポットは、たくさんあると思う、またリニューアルするホームページへのアクセス増につながるような仕組みもできるので、整備を進めてほしい。
事務局	● wifi 設置については、各部署で必要に応じて検討していきたい。
委員	● 近日中に台風がくるような状況であるが、屋外拡声器等による行政からの情報が無く不安に思っている市民もいる。デジタル防災行政無線の整備については、はやめに整備を進めてほしい。また、会議が年に1回だけしか開催されないが、少ないのではないか。
事務局	● デジタル防災行政無線の整備については、計画にもとづいて整備を進めている、ご理解いただきたい。
委員長	● 会議の開催回数については、過去の経緯があり、前年度の実績と今年度の進捗をある程度把握できる今の時期に年1回開催することとなった。ご理解いただきたい。ただし、計画策定等の際は、複数回開催する場合がある。
委員	● wifi 設置の話になるが、今年は、クルーズ船の入港が多い。入港の際、外国人観光客の方に良く聞かれることのひとつに wifi スポットとインターネットカフェの場所がある。観光客向けの wifi 設置については、市・県・民間で連携し整備を進めてほしい。
事務局	● 本日の協議内容を関係部署や県に伝えたい。
委員	● ひとり暮らし高齢者宅等への安心通報システムについては、設置台数だけでなく、活用件数もあげるべきである。また、ICT-BCPについては、どのような状況を想定しているのか。
事務局	● ICT-BCPについては、大規模災害時に情報システムを利用する初動業務について電源喪失等の状況も想定している。
委員	● コンビニ交付については、コンビニ利用人数に対して交付件数が1,600件というのは、利用状況として少ないのではないか。導入当初は、広報をよく見たが、最近は全然見ない。広報不足だと思う。また、目標値は%ではなく実数にすべきである。
事務局	● コンビニ交付については、コンビニ交付以外の交付件数を把握した上での利用状況になると思う。関係課へ意見のあった旨を伝えたい。
委員	● 情報化推進委員会なのに、紙媒体での会議となっているペーパーレス会議を考えてみては？
委員	● 導入で終わりではなく、その後の利活用状況を評価するのは大切である。
委員長	● 会議の進行等について意見あったので、事務局は検討してほしい。
事務局	● 会議の進行については、今回の意見をふまえ委員長と協議のうえ次回の会議進行方法を検討していきたい。
委員長	● 他に意見が無ければ、会次第の2その他について、事務局からお願いします。
事務局	● かごしま IT フェスタについて事務局から説明。

以上